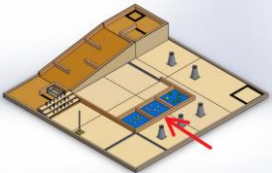


第32回 全国高等学校ロボット競技大会 栃木大会(Q&A)

項目	NO.	Q	A	更新日
競技方法	Q-1	(1)実施規則のP4より、宇都宮エリアにあるいちご・ぎょうざ・かんびょうをそれぞれのエリア内に「自由に設置できる」とありますが、設置の際にジグ等を使用してもよいでしょうか？ (2)いちご・ぎょうざ・かんびょうの各エリア(タイルカーペットが敷いてある部分)にとちまるくん本体が乗り入れることは問題ないでしょうか？ (3)流鏑馬の矢(シャトル)は重ねて3個一緒に飛ばしてもよいでしょうか？1個ずつ飛ばさなければならないでしょうか？	(1)治具を使用しての設置は可能です。 (2)とちまるくん本体が入っても問題ありません。 (3)流鏑馬の矢は3個一緒に飛ばしても問題ありません。	2024.6.3
競技方法	Q-2	「各エリアの上空は、そのエリアに属さない」「上空は、自機の接地地しているエリアと見なす」という考え方でよろしいでしょうか？ 上空でも侵入できない等の制限があれば教えてください。	上空については、侵入制限はありません。	2024.6.14
コース仕様	Q-3	キ 東照宮奉納台 「両側に長さ300mm、200mm、100mm の2×4材を横に重ねて三段にした台に、それぞれ幅100mm×862mm の板を乗せ固定する。」とありますが、「三段にした台」はコースに固定されていると解釈していいでしょうか？ロボットで引っ張っても動かないでしょうか？	コースに固定されています。	2024.6.18
コース仕様	Q-4	(1)各エリアのところで、床面以外の部分(例えば、各エリア端の2×4材、東照宮奉納台)には、ロボットは触れてもよいが、意図的にロボットの荷重をかけるなどしてはいけません。とありますが、ロボットの位置を補正するため、2×4材に当てる行為は荷重をかけたことになるのか、触れたと判断されるのか、ご教示をお願いいたします。	(1)2×4材の側面や奉納台の側面にロボットが当たり、ロボットの位置が変化することは問題ありません。ただし、必要以上に当ててしまい競技コートを汚損させると失格になることもありますのでご注意ください。	2024.6.19
競技方法	Q-5	(1)流鏑馬奉納について、竿のような伸縮機構の先端にシャトルコックを把持しておいて、投げずに流鏑馬の的の上から落とすやり方でもよいのか。 (2)競技開始時の各アイテムの場所を示してください。 (3)競技タイマーや審判マニュアルはいつ頃公開されますか。 (4)ロボットでシャトルコックを投射する際、どうしても多少は傷むと思いますので、全国大会ではある程度交換することを検討ください。	(1)流鏑馬の矢(シャトル)は、投げずに的の上から落としても問題ありません。 (2)競技準備開始前のアイテムは、下図のようにスタートエリアに置いてあります。  (3)競技タイマーおよび審判マニュアルの公開は、7月5日(金)を予定しています。 (4)シャトルなどのアイテムについては多めに用意し、破損や大幅な変形が認められた場合は交換します。	2024.6.22
競技方法	Q-6	競技概要には「宇都宮エリア内にある、いちごエリア、ぎょうざエリア、かんびょうエリア」の記載があるのですが、各アイテムエリアが宇都宮エリアなのであれば、下図の赤い矢印側からアイテムエリアに入り、アイテムをとることは可能でしょうか？ 	いちご、ぎょうざ、かんびょう各アイテムを取る時およびアイテムを取って宇都宮エリアを出る時には、仕切りのモールを通り、杉並木エリアへ移動するようにしてください。ご質問いただいた取り方は認められません。	2024.6.22
競技方法	Q-7			